

これまでの取り組みについて

目次

- 熊本駅周辺整備の歩み
- 熊本駅周辺地域まちづくり推進協議会
- これまでの協議会における主な議題
- 熊本駅周辺整備の状況
- 熊本駅周辺の整備効果

熊本市 熊本駅周辺整備事務所





■熊本駅周辺整備の歩み

- 平成13年 連続立体交差事業、土地区画整理事業、周辺街路等の都市計画決定
- 平成14年 連続立体交差事業（4 km、1 km）事業認可
- 平成15年 連続立体交差事業（延伸2 km）都市計画変更、認可変更
- 平成16年/3 九州新幹線 新八代～鹿児島中央駅間部分開業
- 平成16年/10 「熊本駅周辺地域まちづくり推進協議会」設置、第1回協議会開催
- 平成17年/6 「熊本駅周辺地域整備基本計画」策定、県市協定の締結
- 平成18年 「熊本駅周辺整備に関するトップ会議」設置
「熊本駅周辺地域都市空間デザイン会議」設置
- 平成23年/3 九州新幹線鹿児島ルート全線開業
- 平成27年/3 鹿児島本線上り線高架化完了

■熊本駅周辺地域まちづくり推進協議会



- ◇掌握事務 : ① 熊本駅周辺地域の整備計画に関すること
② 熊本駅周辺地域のまちづくりに関すること
③ その他、熊本駅周辺地域整備の推進に関すること
- ◇委員構成 : ① 学識経験者 (2名)
岸井教授 (日本大学)、両角名誉教授 (熊本大学)
- ② 地元代表者 (6名)
地元3校区の自治協議会長及び委員 (春日・古町・白坪)
- ③ 公募委員 (5名)
市民代表
- ④ 地元経済界 (3名)
熊本商工会議所、熊本経済同友会、熊本青年会議所
- ⑤ 行政機関 (12名)
国、県、市から各4名 (企画、都市計画、建築、土木)
- ◇経緯 : 平成16年10月1日に第1回の協議会を開催し、これまでに13回実施
(前回は平成25年11月12日)



■これまでの協議会における主な議題

1) 計画関係

- ・熊本駅周辺地域整備基本計画（平成17年6月策定）
- ・JR鹿児島本線鉄道高架及び熊本駅周辺等の整備に関する協定（平成17年6月締結）
- ・熊本駅周辺整備に関するトップ会議（平成18年開始）
- ・熊本駅周辺地域都市空間デザインガイド（平成19年7月策定）

2) 基盤整備

- ・JR鹿児島本線・豊肥本線連続立体交差事業（新駅舎計画）
- ・熊本駅前東A地区第二種市街地再開発事業
- ・駅前広場整備事業（白川口、新幹線口）
- ・熊本市電計画（サイドリゼベーション、駅舎乗り入れ）
- ・新幹線駅舎計画、合同庁舎移転計画、高架下利活用計画、白川河川敷利活用計画 等

3) まちづくり

- ・九州新幹線開業に向けた取り組み
- ・九州新幹線全線開業後の動向
- ・都市景観大賞受賞（平成25年度） 等



熊本駅周辺整備の状況

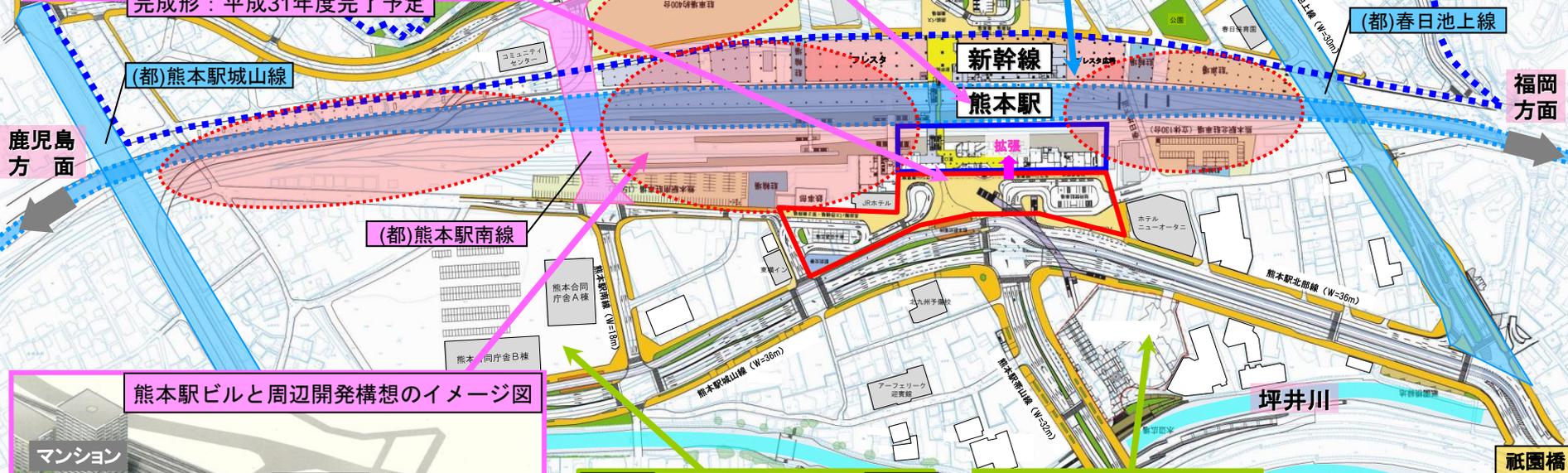
新幹線駅舎
在来線高架橋
現 駅 舎
拡張整備 (約40m)
完成整備 → 約18,000㎡
暫定時(現在) → 約11,000㎡
立体横断施設

熊本駅白川口駅前広場
 暫定形：平成23年3月完了
 完成形：平成31年度完了予定

連立事業 (新熊本駅舎)
 平成30年度完成予定

連立事業 (在来線高架化)
 平成29年度切替予定

熊本駅西土地区画整理事業
 平成32年度完了予定



熊本駅ビルと周辺開発構想のイメージ図

マンション
 複合映画館 会議室など
 商業施設
 立体駐車場
 ホテル
 駅前広場
 立体庭園
 熊本地方合同庁舎
 駅舎

B棟
A棟

合同庁舎 A棟平成22年10月完成
 B棟平成26年10月完成

熊本駅前東A地区市街地再開発事業

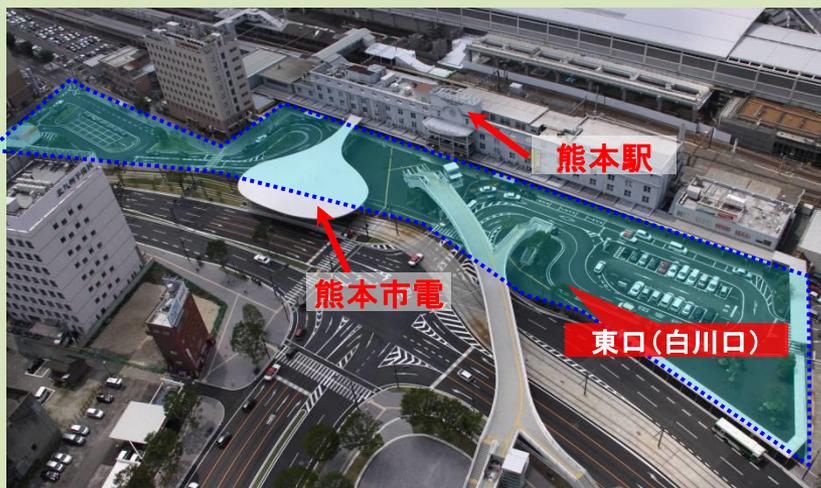
凡 例

整備完了	緑色
整備中	青色
今後着手	ピンク色

■熊本駅周辺の整備効果(駅利用者の増加)

熊本駅周辺地域では、鉄道の利便性や都市としての魅力が向上したことで、在来線・新幹線の鉄道利用者や、熊本市電の乗降客数が増加している。

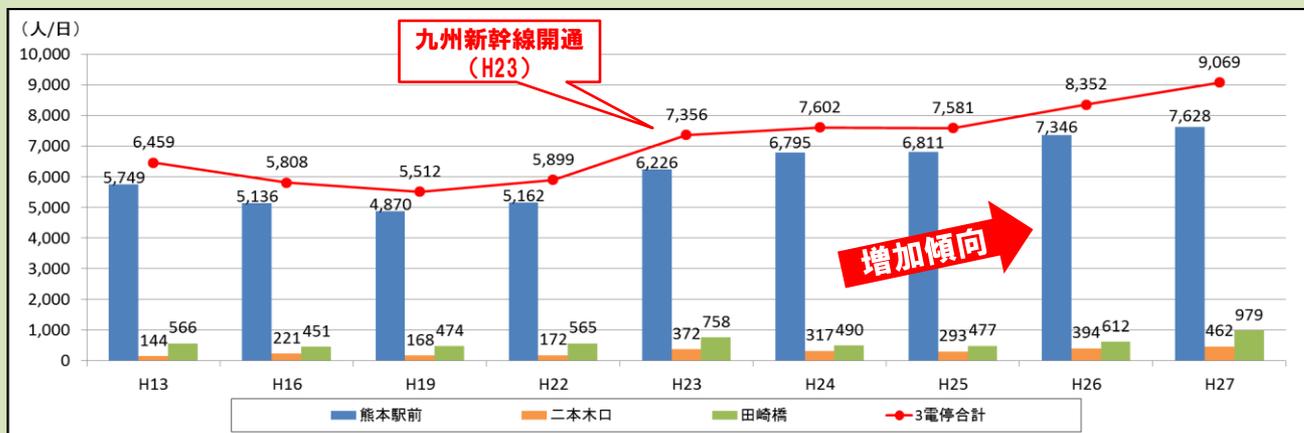
駅利用者の増加



熊本駅新幹線・在来線 乗車客数(年間)



熊本市電停留所(熊本駅前、二本木口、田崎橋) 乗降客数(終日)



(出典: JR九州提供資料)



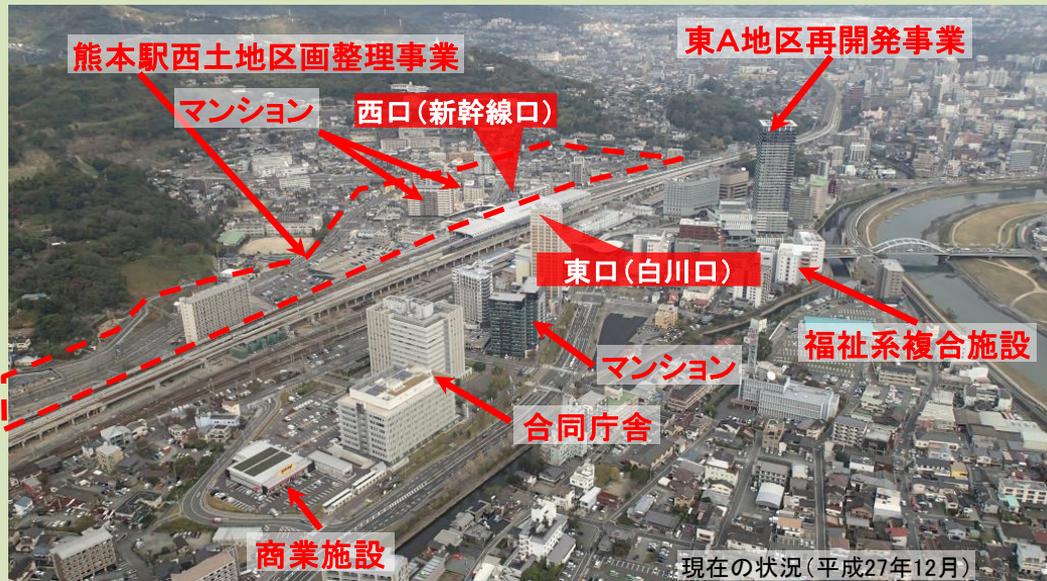
▲熊本駅前停留所(熊本駅白川口)

(出典: 庁内資料調査)

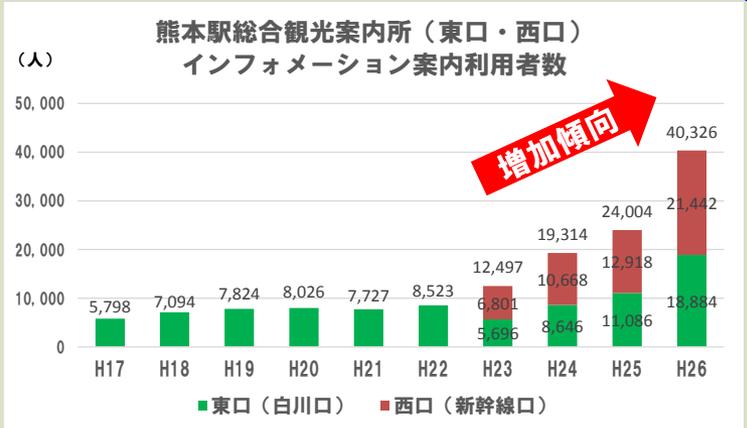
■熊本駅周辺の整備効果(賑わいの創出)

熊本駅周辺地域では、鉄道の利便性や都市としての魅力が向上したことで、観光案内所利用者数や歩行者交通量が増えるなど賑わいが創出されている。

賑わいの創出



現在の状況(平成27年12月)



(出典:庁内資料)

観光案内所利用者数:
H17から約35,000人増

熊本駅西口(新幹線口)出口 歩行者交通量(8:00~20:00)



▲JR熊本駅西口(新幹線口)

熊本駅前広場東口(白川口)出口 歩行者交通量(8:00~20:00)



(出典:商店街通行量調査) ▲JR熊本駅東口(白川口)

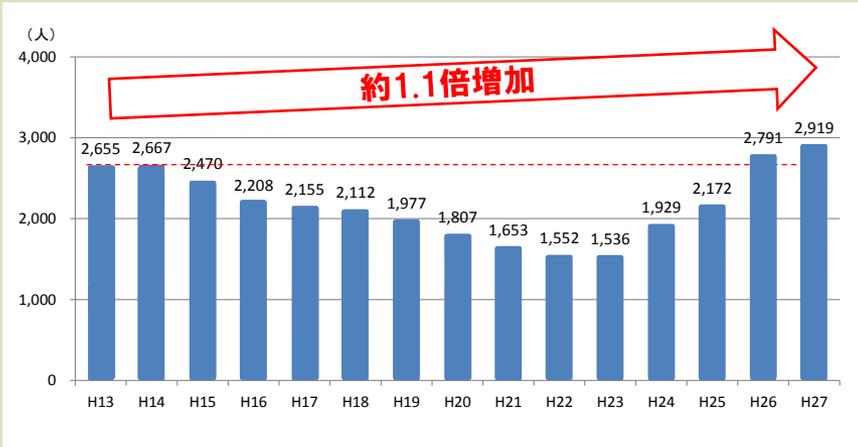
■熊本駅周辺の整備効果(居住地・従業地の魅力向上)

熊本駅周辺地域においては、民間マンション等が立地することで夜間人口が約1.1倍増加(H13比)しており、さらに専門学校等や合同庁舎が立地することで昼間人口が約4,000人増加している。

夜間人口の増加

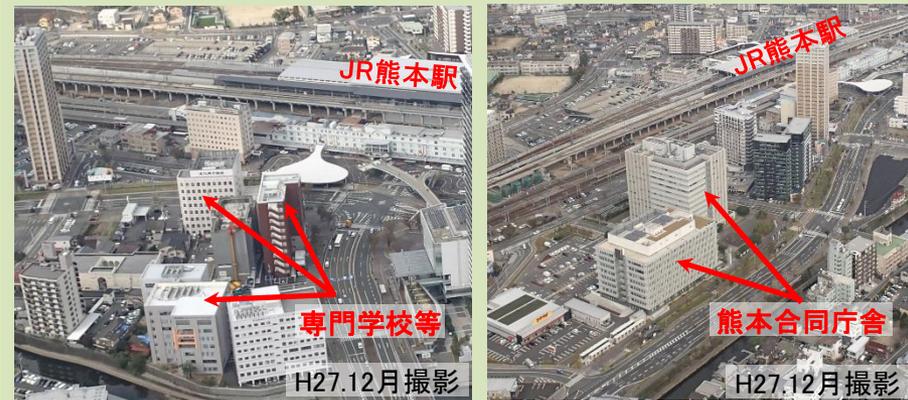


夜間人口(春日地区)の変化



(出典:住民基本台帳人口)

昼間人口の増加



通学者 専門学校等(4校)
⇒1,800人

勤務者 熊本合同庁舎(A棟・B棟)
⇒2,200人

約4,000人増

更に

くまもと森都心プラザの来館者数
⇒約100万人/年(H27年度)

※当初想定50万人/年

(県聞き取り調査結果)

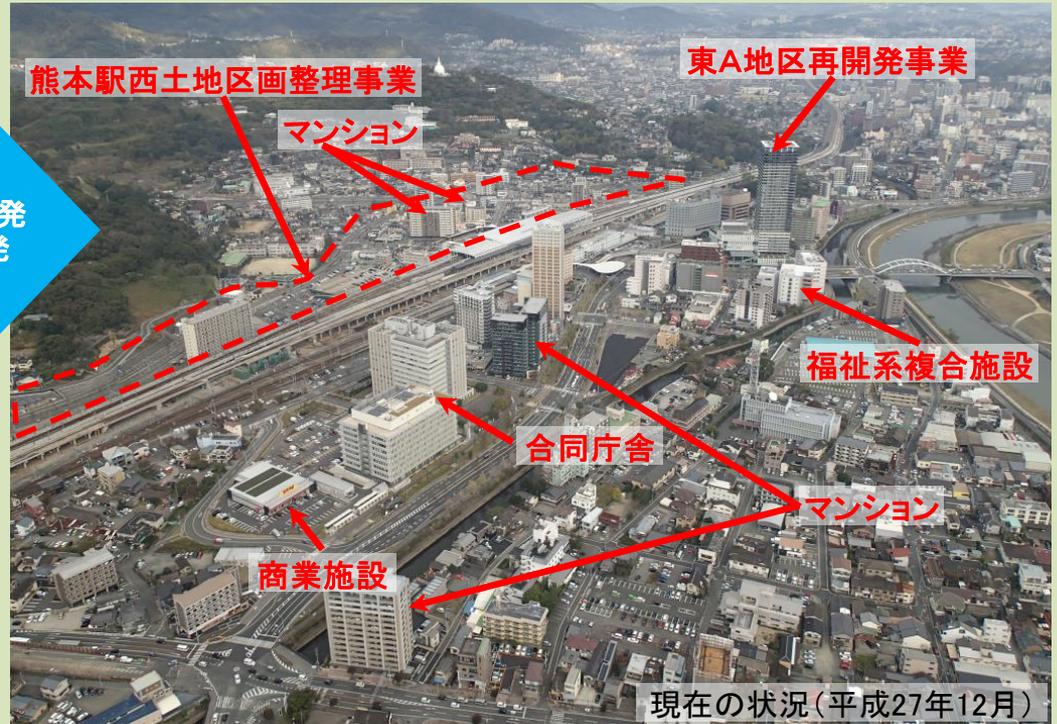
■熊本駅周辺の整備効果(周辺開発の誘発)

熊本駅周辺地域においては、九州新幹線の開業や鉄道の高架化にあわせて、土地区画整理事業や市街地再開発事業、街路事業等の基盤整備を一体的に実施することにより、民間のマンション建設等が活発になっている。

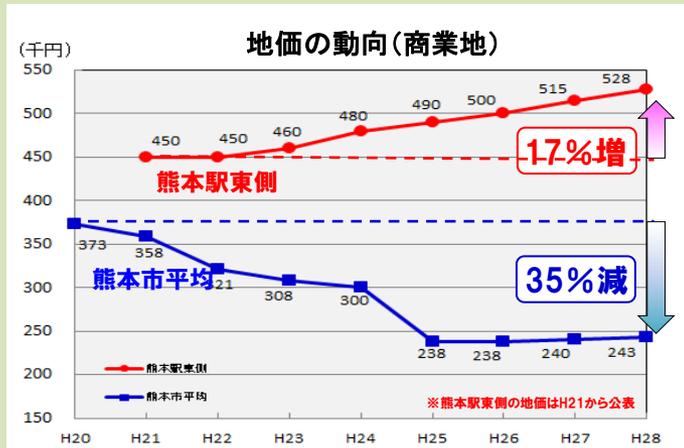
周辺開発の誘発



周辺開発の誘発



事業の進捗に伴い、周辺の地価が上昇



▲合同庁舎



▲東A地区再開発事業